

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年7月12日

派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	新宮町			代表者名	新宮町長 長崎武利
担当者部署	政策経営課			連絡先電話番号	092-962-0230
担当者役職	主幹	担当者氏名	大賀純治	連絡先E-mail	
住所	811-0192 福岡県新宮町緑ヶ浜1-1-1				

#### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	吉本 明平
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	わかりやすい言葉を使用し、理解できるよう実例を挙げながら今後実施する研修会の主題を示していただき、円滑に情報共有や要望を伝えられたこと。
アドバイザーへの要望事項	特になし

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年7月7日	14時00分	16時30分	5	145
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	政策経営課 情報政策担当	3人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	自治体DXを推進するにあたり、職員意識を向上させることが難しいことが課題	
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	全職員が自治体DXに対して肯定的な意識を持ち、自治体DX推進に向けて同じ方針の下、各施策に取り組むことを成果とする。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	人口減少社会における自治体DXの必要性。また、ICTの進展に伴い柔軟なつながりの中で最適化がなされている事例などを挙げていただき、発想の転換が不可欠であり、そのような内容を職員研修で伝えていくこととした。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	情報担当職員の意識改革となり、今後の自治体DX推進にあたり、柔軟性や撤退を考慮した事業実施の必要性を理解した。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない	
具体的な成果物	特になし	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートは、8月6日の職員研修時に実施する予定	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	全体職員研修を通じて、各職員が自治体DXの必要性を理解したうえで、今後の自治体DX推進施策に取り組む。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

